

2014
(1126)



右馬允だより

梅の花が満開の19日。今年は大西山の梅祭り
(土曜日)
 が見事に当り。私たちに含め多くのお客様たちを喜
 ばせてくみまして その事をお伝えしたくて書きはじめ
 たおたよ里が完成せず一週間が過ぎました。
 うぐいすの鳴く声、梅の花、最高のおもてなしと
 思いがから…… 今も花桃がとてきれいです。

小浜線(松川から大鹿に入ると軽道)は新緑がキラ
 キラ光り山吹の花を追いかけるように藤の花が咲
 きはじめ 自然界の展開は早過ぎると思ひながら眺
 めています。枯れていた右馬允の庭も緑々としてきて
 二輪草、ツラネアオリ、一人静、いかり草が静かに何
 枚も咲いていて小野草の不思議な力に驚かされる時です。

いよいよ右馬允と自然界の営みと同時進行で年老
 いた私たち二人は追いついていけない賑わいを見せて
 くれていて 主人正介は厨房を相変らす味のリーダーとして
 活躍出来るのですか。私の方は出来るというのでお手伝い
 というポジションで参加。若者たちに任せるという事
 も親の大事な役割と考えています。

深々沢の長崎さん姉弟。

備前焼きの窯出しが予定とおり

3月30日(日)にありました。皆さん身体が大変な状態
 の中でもなんとか頑張って焼き上げた作品は果たして何如
 かに、という緊張感を覚えながら午前10時窯出しは始まりました。
 一例目、二例目、三例目と作品を出しながら操姉(作者)は、
 健さんは、お兄さんは どういう思いで作業をされていたのかどうか……
 お手伝いに行った正介は、允は、都合がつかず お手伝い出来
 なかった私はそんなことを思うばかりでした。後日 すでに水洗
 も済んだ棚に並べられた作品を見せてもらいにまわりました。
 毎回毎回焼きエリが違っていて今回もまた今回だけの紅エ
 リで目を楽しませてもらえ、お姉さんお毎年新作がある
 というのも興味深く、挑戦して下さるお姉さんの姿勢に心打たれ
 ました。その人柄が作品に滲み出て、やっぱりお姉さんの作品は
 素晴らしい魅力的です。昔から、みせてもらうと、こいもあれと
 欲しいものだらけになってしまいました。か今もそうです。
 身体には 充分気を付けて活動が 続くことを願って止ませ
 せん。

花桃の園 駒ヶ根市中沢の住吉屋の主人
 折草峠の入口の谷を育てた苗木を植え胸が張り
 マケそうな程の花桃の園を倉りり上げた。友子母
 を乗せてその道のりを3往復しました。本当にすこい
 花園でした。4月27日曜日のこと。母も元気です。